



# 上尾ロータリークラブ



## 2013-14年度R.I.テーマ ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を



関口 和夫会長

### 第2529回 例会 会長あいさつ

2014.2.13

週報 No.1987

発行 2014年2月27日

会長 関口 和夫

幹事 齋藤 哲雄

副会長 齋藤 博重

副幹事 久保田 勲

編集責任者

クラブ広報委員長 野瀬 将正

ビジターゲスト  
第2770地区 国際奉仕委員会  
委員 大東 悦巳様  
(春日部西ロータリークラブ)

- 3月 5日 第5グループ  
インターシティーティング  
於 東武バケットホール上尾
- 3月 6日 例会日時変更
- 3月 13日 卓話  
吉野丈朗会員  
「最近の葬儀事情」
- 3月 19日 観劇「風流祭三月大歌舞伎」  
於 歌舞伎座(銀座)  
(例会場・日時変更)
- 3月 27日 テーブルディスカッション  
「クラブの活性化について」

本日は国際ロータリー第2770地区国際奉仕委員会委員大東悦巳様、ようこそおいで頂きありがとうございます。

土曜日の大雪に皆さんの様にすごされたでしょうか。雪かきで、身体中が痛くなった方もいらっしゃると思います。この時期になりますと、北海道の海岸には流氷の接岸の知らせも届きます。今日は、流氷について調べてみました。2月9日の報道で網走地方気象台は、オホーツク海の流氷が接岸し、船舶が航行できなくなる「流氷接岸初日」を網走市で観測したと発表しました。昨年より7日遅く、昨年より23日遅いようです。今年は冬型の気圧配置が持続せず、北からの強い風があまり吹かなかったため流氷の南下が遅れたと言うことです。オホーツク海の流氷は、アムール川から大量の真水が流れ込んで塩分が低くなった海水が凍り、凍る過程で塩分が排出されたものと言われます。また、オホーツク海の入口には千島列島とつながる海底山脈があるため海底では太平洋とさざぎられています。この構造のため、海底から深度50m付近までが塩分濃度の違いによって密度の異なる層となっています。これにより深いところは密度が高いため、深さ50mまでが氷結温度に達すると凍ることになります。

また、網走市とほぼ同じ緯度にある都市は、ミラノ、サンマリノ、モナコ、オタワ、ミシガン湖などがあり、想像以上に南にあります。そして、流氷には植物プランクトンが付着していて、春になると一気に増え、これを餌にして動物プランクトンやオホーツク海の漁場は豊かになります。また、流氷に乗ってアザラシやオオジロワシやキタキツネなどがシベリアからやってきます。気象庁の解説によれば千島列島に沿って南下して日本の東まで達する寒流親潮(千島海流)と呼ばれます。日本の南を流れる暖流黒潮と三陸沖でぶつかります。親潮の名は、栄養塩が多く、魚類や海藻類を養い育む親にあたることから由来すると言われています。黒潮が青や紺色をしているのに対して、親潮は緑や茶色がかかった色をしています。北太平洋には北と南に大きな二つの循環があります。北側のものは親潮を含むもので、反時計回りに流れていて、亜寒帯循環と呼ばれています。南側のものは黒潮を含むもので、おおむね北緯40度以南を時計回りに流れていて、亜熱帯循環と呼ばれています。亜寒帯循環はベーリング海を出ると東カムチャッカ海流として千島列島沿いを南西に流れます。その一部はオホーツク海に入り、オホーツク海を循環してウレップ海峡などから再び太平洋に出ます。そのとき、千島列島沿いをそのまま南西に流れてきたものと、海水の交換、混合が起こり、親潮が生成されます。ウレップ海峡から流れた海流は、海洋及び天候に大きな影響をもたらす重要な海峡です。この名前を覚えて頂きたいと思います。

### 幹事報告

ガバナーナイトのご案内が届いております。3月15日までに地区に報告する必要がありますので、希望者は幹事まで報告をお願いいたします。

- ◆国際大会の朝食会につきましても同様に案内が届いております。
- ◆2月14日には第5グループの会長・幹事会が北本市で行われます。
- ◆今月のロータリーレートは102円です。
- ◆会費についてまだお支払いいただいていない方は納入をお願いいたします。
- ◆本日は例会終了後、理事会が行われます。

以上で幹事報告とさせていただきます。

### 委員長報告

親睦活動委員会 古賀 昇委員長

改めましてこんにちは。先月協議で提案していた移動例会について、本日の理事会の審議で通れば、3月20日に公演される歌舞伎を観劇したいと企画しています。チケットが買取のため、手配をできるだけ早めようと考え、審議前にご案内させていただきました。皆さまご出席のほどお願い申し上げます。

### 第24回 上尾市障がい者作品展即売会が開催されました!

平成26年2月15日(土)～18日の4日間、まるひろ百貨店6階特設会場で、クラブの社会奉仕活動として、障がい者作品展即売会が開催されました。初日はあいにくの天候でしたが、トータルで大勢のお客様にご来場いただきました。受付当番にご協力いただいた皆様、ありがとうございます。

### 例会主題 卓話

#### 国際奉仕プロジェクトについて

第2770地区 国際奉仕委員会委員 大東悦巳様

世界理解月間ということで国際奉仕部門に卓話の依頼をいただきありがとうございます。上尾RCは奉仕の理念が高いクラブなのかなと思っています。先日のフィリピンでの台風では多大な義援金をお預かりしましたことを改めてお礼申し上げます。義援金なので公表されませんが20万円を超す金額は地区ナンバー1です。本当にありがとうございました。



本題に入らせていただきます。ロータリークラブは、現在200以上の国、および地域に約3万3千のクラブ、そして120万人以上の会員がいます。我々ロータリアンの義務は、ロータリーの会則を履行することです。第1はクラブ奉仕、第2は職業奉仕、第3は奉仕の実践、そして第4が国際奉仕の概念になります。

社会奉仕・国際奉仕の考え方として、地域のロータリークラブが事業を実践しないといけません。しかし、発展途上国や開発途上国などは国や行政がニーズを満たすことができない、ロータリークラブがあっても資金やマンパワーの不足で実践が不可能な場合があります。その場合、援助を外国の地区やクラブに求めることができます。これが国際ロータリーという国際奉仕になります。財団から補助金という制度がありますので、有意義な事業には補助金が充てられます。

2770地区の国際奉仕の状況ですが、タイ、ベトナムを支援したり、上尾RCさんではナイジェリアに保育器を送るというプロジェクトがあるとお聞きしました。地区の国際奉仕部門では渡邊ガバナーから、すべてのクラブが国際奉仕を行ってほしいという方針を受け、国際奉仕をやりたいでもノウハウがないクラブ向けとして、フィリピンの3800地区と連携して毎年数十件の案件を用意し、各クラブに紹介しています。いわば国際奉仕初心者コースの案件にあたります。

フィリピンの人口は9,500万人ですが、そのうち1日2ドル未満で暮らす人は40%となっています。830のロータリークラブがありまして2万2千人の会員がいらっしゃいます。フィリピンの現状では、小さな子どもが空腹を

まぎらわすためシンナーを吸っています。子どもたちは、悪びれる様子もありません。母親もシンナーを吸っています。フィリピンでは宗教上の理由で中絶ができないので、障がいを持った人がたくさんいます。そして劣悪な環境で、ストリートチルドレンという家を持たない子どもが大勢いて、外で寝ている光景なども珍しくありません。道路に勝手に家を建てるなども当たり前のようにあります。インフラの整備が遅れているので、台風がくるとすぐに洪水になりまして衛生環境もよろしくありません。

年間数十のプロジェクトを3800地区から紹介され、現地に視察に行くウェルカムパーティーを開いてくれます。春日部西RCではスペシャルチルドレンに5台のパソコンを贈呈しました。

「食べる」ことも容易ではないフィリピンで、未就学児は保健センターで給食をいただきます。ロータリアンはこの給食の場で、英語を教えています。

今年度まだ決まっていない案件では、赤十字社がレスキュー器具がほしいそうです。17万円のプログラムなのですが、もしまだどちらかのクラブが手を挙げていただければ幸いです。

最後にテレビやインターネットでさまざまな世界の情報が閲覧できます。それを見て自分たちには何もできないとあきらめてしまったりそれで終わりです。私たちと同じ目的・考えをもった人々が200以上の地域、120万人以上います。2011年3月に私たち日本人も、与える側から与えられる側になったことは記憶に新しく、この恩を忘れてははいけません。情報や経済のグローバル化の中で地球は狭くなりました。世界の片隅でおきていることは地球は狭くなりました。世界の片隅でおきていることは地球は狭くなりました。世界の片隅でおきていることは地球は狭くなりました。

私たちがロータリアンは世界の出来事に関心をもって相互理解を進めていかなければなりません。百聞は一見にしかずです。まずは行動をおこして素晴らしいロータリーライフを共に送っていただきたいをお願いいたします。

大東様 卓話ありがとうございます。

出席	会員数	35	出席数	20
欠席	欠席数	15	(%)	57.14
前回確定			欠席数	0
修正(%)	100.00		(M-U)	0

スマイル 21,000円

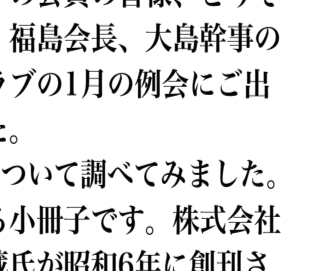
### 第2530回 例会 鴻巣ロータリークラブ合同例会

2014.2.18 於:鴻巣市民活動センター

#### 会長あいさつ

関口 和夫会長

合同例会の会長挨拶をさせていただきます。国際ロータリー第2770地区バスターガバナー津田健三様、ガバナー補佐星野一雄様、本日はお出で頂きありがとうございます。鴻巣ロータリークラブの会員の皆様、どうぞよろしくお願いします。また、福島会長、大島幹事のお二人は、上尾ロータリークラブの1月の例会にご出席頂きありがとうございます。



今日は、「拔萃のつくり」について調べてみました。毎年恒例となって、頂いている小冊子です。株式会社熊平製作所がの創業者熊平源蔵氏が昭和6年に創刊され、今年で「その七十三」となります。創業記念日の1月29日に45万部発行し全国に寄贈されています。株式会社熊平製作所は、明治31年に広島市で金庫の販売修理を目的に創業しました。製造会社の株式会社熊平製作所は資本金4億5千万円、従業員443名、売上高97億円、販売会社の株式会社クマヒラは資本金4億5千万円、従業員650名、売上高314億円の企業です。現在

は金庫のみならず、セキュリティシステムの構築も業務としています。その企業理念は「英知と創意で社会に貢献できる明るく夢のある企業にしよう」だそうです。企業の社会貢献として「人と人のつながりを大切にしたい。」と「拔萃のつくり」寄贈と留学生と文化事業に援助を行っています。何気なく読んできた「拔萃のつくり」にも、ロータリークラブの社会奉仕に繋がる企業の伝統と理念を感じ、その文章を大事に読ませて頂くと思いました。

今回の「拔萃」の中で作家の内館牧子さんの朝日新聞の記事の「一本の点滴より一口のスプーン」と言う文章が心に残りました。自分が病気になるって、体力が消耗して全身の筋肉が落ちてスプーンさえない時に医師から言われた言葉が目覚めたこと。口から食べられる状態にある人は、口から食べることによって、体に元気がもたらされること。口から食べることが命をつなぐことが書かれていました。

この記事を読み、料理研究家の辰巳芳子さんの「いのちのスープ」を思い出しました。脳血栓により食事が困難になった父親のために介護食としてのスープを作り続けたこと。父の死後も訪問介護クリニックでスープサービスが続けたこと。独自の流動食を提案していること。「命に直結した食の大切さ」を訴えられていること。

一つの文章から、食事が出来ることの大切さを感じました。皆様も健康である事とは何かを、お考え頂ければと思います。以上をもちまして、会長挨拶とさせていただきます。

鴻巣ロータリークラブさま、津田バスターガバナー、星野ガバナー補佐、ありがとうございます!

スマイル  
関口会長 齋藤哲雄幹事  
齋藤博重副会長 萩原会員  
島村会員 長沼会員 齋藤修弘会員